



農業者インタビュー

～福生唯一の認定農業者 村野正さん～

今回は、認定農業者として2年目を迎えた村野正さんにインタビューをしました。

Q. 認定農業者となり、農業経営について、気をつけていること、変化したことはありますか？

A. 年間を通してビニールハウスをフル回転できるよう、計画的に栽培をしています。ハウスの活用により、収量も増え、市場のピークとずらした出荷が可能になりました。



Q. 最近、力をいれている野菜はありますか？

A. ハウス栽培のキュウリとトマトです。トマトは、自家製のぼかし肥にこだわっています。今後は、学校給食を視野に、タマネギやニンジン、ネギの収量をより上げていきたいです。

Q. 村野さんにとって、やる気の源はなんですか？

A. 消費者の皆さんとのふれあいです。農業のかたわら、市内でサッカーの指導をしているのですが、その際、子ども達から給食の感想を聞いたときは嬉しいですね。子ども達や直売所のお客さんなど、「自分の野菜を待っている人がいる」と思うと、自然とやる気がわいてきます。

※認定農業者とは、国の農業経営基盤強化促進法に基づき、「効率的かつ安定的な農業経営」を行なう担い手を市が認定し、支援する制度です。

村野正さん、お忙しいところありがとうございました！

農業委員会法が改正されました

平成28年4月1日より、改正農業委員会法が施行されます。今回の改正は、農地利用の最適化をよりよく果たせるようにすることを目的としています。

なお、現在の福生市農業委員会の任期は平成29年7月19日となっているため、任期満了後に新体制へと移行します。

改正農業委員会法のポイント	当委員会の対応
農地の利用集積等を行う農地利用最適化推進委員の新設すること	不要※
公選制を廃止し、区市町村長の任命制とすること	要
過半数を認定農業者とすること	不要※
農業者以外で、利害関係のない者を一人以上入れること	要
定数を現行の半分程度とすること（推進委員を置かない場合は、現行程度）	現行程度とする

（表の中の※印は、農業委員会の設置義務が無い自治体のため該当しません。）

農産物共進会 < 結果 >

昨年 11 月 15 日 (日)、西多摩農業協同組合福生支店にて「第 33 回福生市農産物共進会」が行われました。

2015 年は、全国的に猛暑や豪雨など、天候不順が叫ばれましたが、この度の共進会では、昨年を上回る計 146 点もの作物が出品されました。

審査員一同から、「どの部門においても平均レベルが上昇している」との評価を受けました。

次回も、たくさんの皆様から出品されることを、当委員会としても期待しています！

第 33 回福生市農産物共進会 特別賞受賞者

賞 名	品 名	受賞者名
東京都知事賞・西多摩農業協同組合長賞	ダイコン	笹本 昌男
東京都知事賞・西多摩農業協同組合長賞	ナガイモ	関谷 悌三
福生市長賞	ラッカセイ	笹本 昌男
東京都産業労働局長賞 東京都農業改良普及事業協議会長賞	ショウガ	笹本 昌男
東京都農業振興事務所長賞 西多摩農業改良普及事業協議会長賞	ミカン	細谷 浩二
東京都農業共済組合長賞	ダイコン	小山 明男
西多摩地方農業委員会連合会長賞	ネギ	村野 徳平
福生市農業委員長賞	ハクサイ	清水 長治
東京都農業協同組合中央会長賞	ラッカセイ	村野 正
東京都信用農業協同組合連合会長賞	サトイモ	笹本 昌男
全国共済農業協同組合連合会東京都本部長賞	キュウリ	村野 正
全国農業協同組合連合会東京都本部長賞	仕込み味噌	島田 満寿江
東京都農業信用基金協会長賞	カキ	村尾 伸子
山印醸造株式会社社長賞	仕込み味噌	石川 クニ



東京都知事賞 笹本昌男さん

学童クラブもちつき

平成 28 年 1 月 16 日 (土)、学童もちつき大会が行われました。

福生唯一の水田で 11 月に収穫された、新米の「アクネモチ」(もち米)を 50kg 使用し、参加者の皆さんに味わっていただきました。

今年は昨年以上に、柔らかく美味しいお餅ができ、大好評でした！



☆☆☆ お気軽にお問い合わせください！ ☆☆☆

福生市農業委員会事務局 (福生市生活環境部シティセールス推進課内)

電話：042-551-1699 FAX：042-552-2622 メール：f-sinkou@city.fussa.tokyo.jp